



枚方橋(東海道分間延絵図) 文化3年(1806年)

現在は暗渠となっていますが、かつてここには安居川(中川)が流れていました。江戸時代の枚方宿には、南北2つの「枚方ノ橋」があり、明治時代以降、北の橋は鶴橋、南の橋は枚方橋と呼ばれるようになりまし。現在も「枚方橋」と刻まれた欄干の一部が残っています。

提供:東京国立博物館